

2022年度 特定非営利活動法人晃智会 事業計画書

2022年5月9日

1. 総論

前年度は人員を増やしたことによる経費増から利益幅は下がったものの障害福祉サービス費は10%増と底堅い運営が出来た。

本年度は利用者数増加の流れからも2店舗目建設が最優先課題。2022年度の卒業生を受け入れることが出来るようにスピーディーな事業展開と新店舗運営を滞りなく行える人材育成が重点項目になる。

2. 重点目標・業務計画

(1) 稼働計画

ROHAS 利用者数の増加

* 損益分岐点となる稼働率

⇒平均稼働率 80% (一日平均 16 人)

(2) 業務計画

①2店舗目の生活介護施設、放課後デイサービス事業

②人材育成

③ROHAS 利用者数をさらに増やす (2店舗目につながる地域からの受け入れ強化)

④SNS の活用による家族間交流の場の作成、ROHAS からの情報提供

(3) 業務改革

①業務のオンライン化

・会議や勉強会のオンライン化

・各種書類のオンライン化

②勤怠調整

・利用者数に合わせての休業制度の導入

・送迎体制改革 (直行直帰システム)

(4) 人員

・コロナウイルス終息まで休業制度を利用しつつ、人員の維持

人員基準 1.7:1 を維持

・看護職員の増員

・将来を見据えた新卒の若い世代の受け入れ